

出版物の健全なネット取引環境整備研究WG 報告

同WG

弁護士 村瀬拓男

本WGの目的

- 多種多様な内容の出版物が自由に流通し、その収益が次の創作・出版を支えるというサイクルの重要性
- 出版界はインターネットの世界において、紙の世界よりもはるかに自覚的に、出版物・出版行為の多様性を守りつつ、共通の流通基盤を整備・発展させていかなければならない
- 権利者の保護、読者の利便性、事業の継続的発展といった要素をバランスをとって実現しているために、出版業界として取り組むべきところを具体的に指摘していくこと

本年度の取り組み

- 出版界の「特殊性」の存在

映像や音楽の領域と異なり多数の出版社が存在し、かつその多くが経済的に零細な立場にあること。出版のジャンルによつて商習慣も大きく異なり、業界全体を代表するようない業界団体が存在しないこと。出版物の多くは、著作権者からの権利許諾により出版が行われ、出版社自身が固有の権利者として著作権を行使するものが多いこと。出版物は、著作権を集中管理する仕組みも局所的に出版界全体をカバーするものがある。

インターネットでの流通

= 同一プラットフォームでの多様なコンテンツの流通



出版界の「特殊性」は変容を迫られている。



負の環境変化としての「デジタル海賊版」問題

海賊版対策法規制の見送り

サイトブロッキング

リーチサイト違法化

静止画コンテンツダウンロード違法化

海賊版「被害」主張への疑義

出版のビジネスモデルに対する疑義

→海賊版より魅力的な正規版モデルがない？



共通の認識に基づく議論が必要

「漫画村」被害に関する調査

- 田中辰雄慶大経済学部教授によるアンケート調査
- 2018年4月の漫画村閉鎖の前後
3月の漫画購読量と6月の購読量の変化を調べる
- 1回目のアンケート回答数は4806名
- 1回目の回答者に対して2回目のアンケート送付
- 2回目の回答者は2857名
- うち、マンガ読者は1946名（有償、無償、正規版、海賊版問わず）
- 上記マンガ読者の月間購読量の調査
- （結論）
冊数ベースでは1.5冊増加
割合では、13～14パーセントの増加

漫画村閉鎖の購読冊数への影響（3月→6月）：数量（冊）ベース

	(1)	(2)	(3)	(4)
	購入冊数の 変化	購入冊数の 変化	購入冊数の 変化	購入冊数の 変化
	$y_{i1}-y_{i0}$	$y_{i1}-y_{i0}$	$y_{i1}-y_{i0}$	$y_{i1}-y_{i0}$
VARIABLES	紙の漫画	紙の漫画	電子漫画	電子漫画
D:漫画村利用	0.493 (0.798)	0.668 (1.064)	1.497*** (2.910)	1.580*** (3.022)
性別（女性=1）		-0.231 (-0.435)		-0.486 (-1.099)
年齢		0.0776* (1.828)		0.0473 (1.338)
結婚=1		-0.434 (-0.680)		-0.178 (-0.335)
Constant	-0.299 (-1.002)	-1.562 (-1.091)	-0.437* (-1.759)	-0.806 (-0.676)
Observations	1,946	1,946	1,946	1,946
R-squared	0.000	0.002	0.004	0.006

t-statistics in parentheses

*** p<0.01, ** p<0.05, * p<0.1

漫画村閉鎖の購読冊数への影響（3月→6月）：変化率ベース

	(5) 購入冊数の変 化率 $\ln(y_{i1})-\ln(y_{i0})$	(6) 購入冊数の変 化率 $\ln(y_{i1})-\ln(y_{i0})$	(7) 購入冊数の変 化率 $\ln(y_{i1})-\ln(y_{i0})$	(8) 購入冊数の変 化率 $\ln(y_{i1})-\ln(y_{i0})$
VARIABLES	紙の漫画	紙の漫画	電子漫画	電子漫画
D:漫画村利用	0.137*** (2.623)	0.145*** (2.723)	0.129*** (2.757)	0.133*** (2.794)
性別（女性＝1）		-0.0671 (-1.492)		-0.0677* (-1.690)
年齢		0.00500 (1.392)		0.00357 (1.113)
結婚＝1		-0.00291 (-0.0538)		0.0142 (0.294)
Constant	-0.0845*** (-3.340)	-0.121 (-0.995)	-0.0216 (-0.957)	-0.0386 (-0.357)
Observations	1,946	1,946	1,946	1,946
R-squared	0.004	0.006	0.004	0.006

t-statistics in parentheses

*** p<0.01, ** p<0.05, * p<0.1

次年度の取り組み

- 流通モデル、広告モデルの絶え間ない変化
- これらに対応するために、権利者から利用者に至るまで、電子書籍にかかわるすべての人々が、利用促進と権利保護のバランスという観点から、法の解釈において、時にはグレーゾーンにおいて、「このような考え方、このようなやり方は許容されるよね」といった共通理解を持つようになることが望ましい
- このような「共通理解」の涵養をどう進めていくのか、流通の現状に即して検討していく。